研究だより

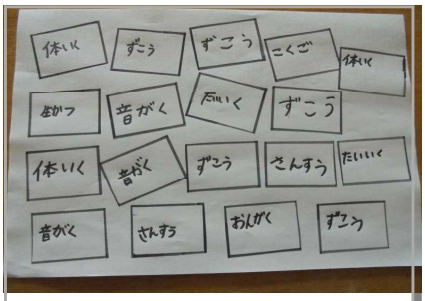
2019年
4月 15日
NO.3 2の2担任

思考を生むプロセスをつくるために

教科書をアレンジ！

2年算数　「わかりやすくあらわそう」　～表とグラフ～

教科書では 表とグラフの**描き方**の学習　→　表とグラフの**読み取り** の順となっている。だが、表やグラフにどんな意味や良さがあるのかわからないまま描かせても、描かせられるだけになり、目的のない作業になると考え、**順番を逆**にして導入した。（授業の１教時目の内容はマイスターレポート No ４）２教時目に使う資料も、教科書のものではなく（１教時目ですでに扱っていて新鮮味がない。）新たに、2 年 2 組の好きな教科のデータを集めておき、表とグラフを描くことにした。自分たち資料を、子供たちは興味深く受け入れた。「図工と体育がどちらも５人で一番多い。」とか、「道徳は一人もいない。０人だ」等、教科書で問われている内容について、まだ聞かれてもいないのに自然にグループで語り合っている。（いいぞ！ ☺）ワークシートは、授業の前にマイスターからアドバイスを受けて、手直しをしておいた。**（教科書をアレンジしておいてよかった！）**

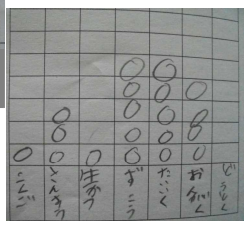


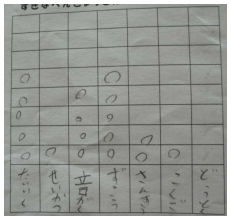
２の２の好きな教科

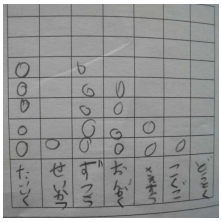
左右二つを比べればすぐわかる通り、左（教科名がすでに書いてあって親切過ぎ）なら、データをただ決められた枠に写すだけになってしまうが、右は、教科名を抜いた枠のみなので、子供たちに思考が生まれたのだ。どの教科をどの枠に描くのか…。グループ内で、見た目の違うグラフがどんどん出来上がっていった。

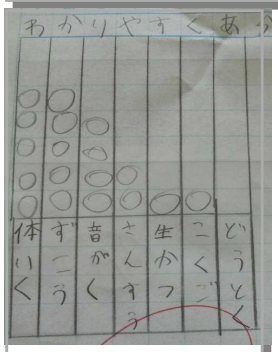
最初に作ったワークシート

アレンジしたワークシート









森川君のグラフ

M君は、ワークシートに一度描いた後で、もっとわかりやすくするために、自分のノートにもう一度、**多いもの順**に描きなおした。（2 年生でもその気になれば、ワークシートではなく、ノートにグラフが描けるんだ！）他の子供たちは、このM君のグラフをを見て、そのわかりやすさに、「おっ。」と声をあげた。グラフは、多い、少ないをすぐ見分けられる良さがあることにも気付くことができた。

今回の単元では、教科書の１教時目と２教時目を逆にし、ワークシートを変えただけだが、子供たちの思考のプロセスを作ることができた。わずかな発想の転換で授業はかなり変わることが実感できた。しかし、その結果、子供たちから多様な考えが出されたにもかかわらず、それらをつなぐファシリテーターとしての教師の技量はまだまだ。今後の課題だ。マイスターに指摘された通り。